

乳癌-69

HER-2 陽性乳癌(周術期・進行再発期)

【維持】フェスゴ配合皮下注単剤療法 患者プロトコル

催吐リスク
最小度
放射線併用なし

投与プロトコル 1コース:21日間 コース数:下記参照 《開始時基準 PS:0~1・年齢:18歳以上》		投与量	投与日	投与時間	備考	
<input type="checkbox"/> 【周術期】手術の前後に投与期間が分かれる場合は、その合計で12ヶ月間(最大18コース) <input type="checkbox"/> 【進行再発期】制限なし						
①	初回投与量	フェスゴ配合皮下注 IN (15mL)		Day1	皮下注射	8分かけて大腿部に投与(前面又は側面) 詳細は、電子添文参照
		<有効成分> 以下に各有効成分の投与量を記載 ペルツズマブ :1200mg/body mg トラスツズマブ :600mg/body mg (ホルヒアルロニダーゼ [®] アルファ:30,000U) -				
経過観察		忍容性が良好であれば、患者の状態に応じて15分まで短縮可能。(15分)				
②	維持投与量	フェスゴ配合皮下注 MA (10mL)		Day1	皮下注射	5分かけて大腿部に投与(前面又は側面) 詳細は、電子添文参照
		<有効成分> 以下に各有効成分の投与量を記載 ペルツズマブ :600mg/body mg トラスツズマブ :600mg/body mg (ホルヒアルロニダーゼ [®] アルファ:20,000U) -				
経過観察		忍容性が良好であれば、患者の状態に応じて15分まで短縮可能。(15分)				

佐賀大学医学部附属病院